

さいたま市防災カルテ

大宮東中学校区

①学区の概況と課題

◆学区の概要

- 【位置】大宮区の東部に位置している。
- 【土地利用】学区内には住宅地が広がっており、東部に大きい公園がある。
- 【交通】西部には新幹線やJR在来線が多く停車する大宮駅が桜木中学校区との境にある。

◆学区の位置



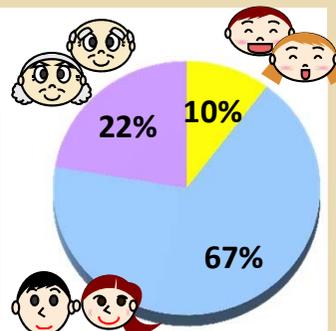
◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.0)	6強 (6.0)	5強 (5.4)			
最小震度	6弱 (5.8)	6弱 (5.7)	5強 (5.1)			
死者	11人 (0.1%)	5人 (0.0%)	0人 (0.0%)			
負傷者	94人 (0.6%)	65人 (0.4%)	5人 (0.0%)			
避難者	1,284人 (8.0%)	599人 (3.7%)	20人 (0.1%)			
全壊建物棟数	399棟 (8.7%)	169棟 (3.7%)	1棟 (0.0%)			
うち焼失棟数	244棟 (5.3%)	90棟 (2.0%)	0棟 (0.0%)			
半壊建物棟数	608棟 (13.2%)	460棟 (10.0%)	49棟 (1.1%)			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	70棟	0棟	0棟
床下浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	3棟	0棟	0棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

◆人口概況 (平成22年国勢調査)

	大宮東中学校区	全市平均
総人口	16,107人	
人口等		
0-14歳	1,647人 (10%)	(14%)
15-64歳	10,863人 (67%)	(67%)
65歳以上	3,596人 (22%)	(19%)
人口密度	10,350人/km ²	5,766人/km ²



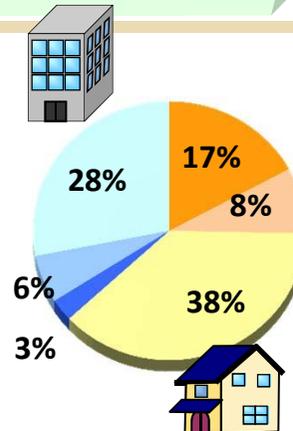
【地震】さいたま市直下地震、関東平野北西縁断層帯地震のどちらの場合でも、**地区の20%前後が全壊・半壊の被害**を受け、**地区の数%にあたる建物は焼失**する恐れがある。

【水害】他の地域と比べ、**相対的には浸水被害の危険性は低い**。

人口割合は全市平均とほぼ等しい一方、**人口密度はやや高い**。

◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

	大宮東中学校区	全市平均
総建物棟数	4,604棟	
建物		
木造(昭和46年以前)	786棟 (17%)	(17%)
木造(昭和47-55年)	379棟 (8%)	(12%)
木造(昭和56年以後)	1,741棟 (38%)	(45%)
非木造(昭和46年以前)	128棟 (3%)	(1%)
非木造(昭和47-55年)	275棟 (6%)	(3%)
非木造(昭和56年以後)	1,295棟 (28%)	(21%)



◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称
避難場所	大宮東中学校、大宮東小学校、大宮小学校、大宮中部公民館、大宮東公民館
一時・広域避難場所	大宮公園、山丸公園
市・区役所等窓口	大宮区役所
消防署・出張所	
警察署・交番	参道交番
救急病院	医療法人社団双愛会大宮双愛病院
応急給水場所	大宮東中学校、大宮東小学校

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

- 【避難】人口密度が高い地域のため、**円滑な避難誘導の実施が必要**。
- 【帰宅困難】大宮駅周辺に位置し、多数の帰宅困難者の発生が想定されるため、**帰宅困難者の誘導・支援体制が必要**。

全市平均と比較すると、**非木造の建物の割合が大きい**。

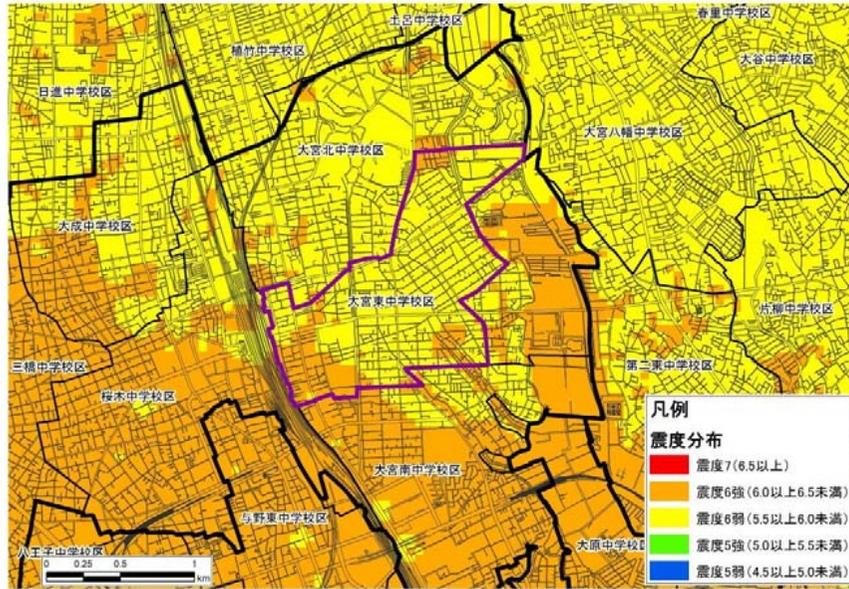
本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。

②さいたま市直下地震の想定 **さいたま市防災カルテ**

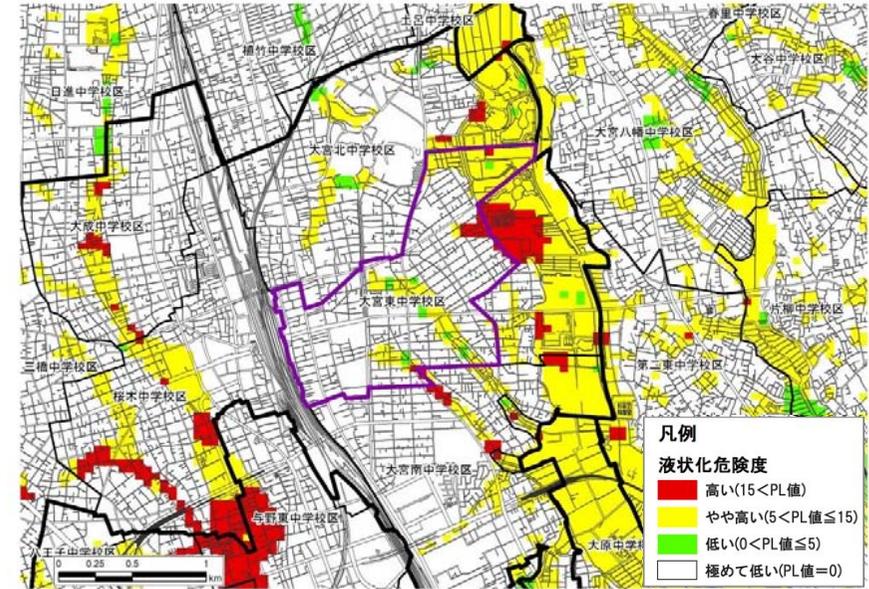
大宮東中学校区



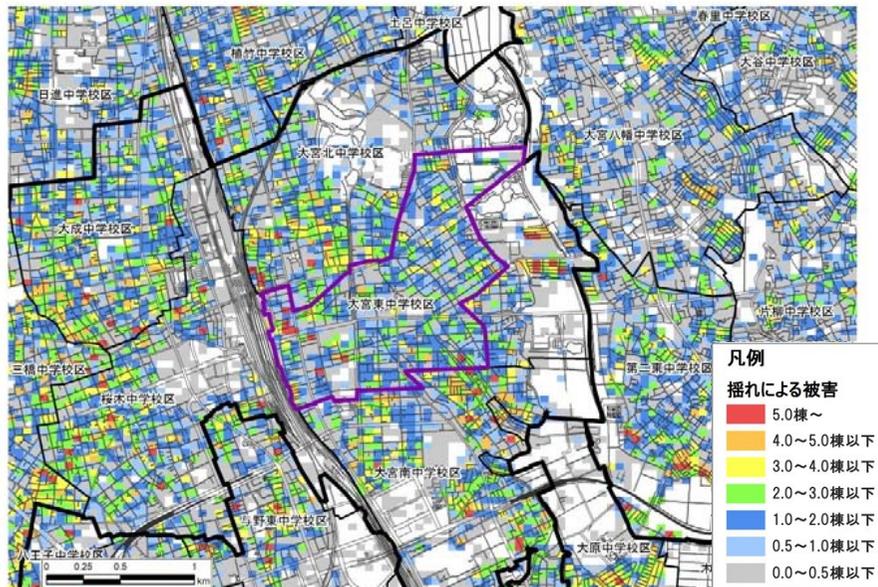
震度分布図



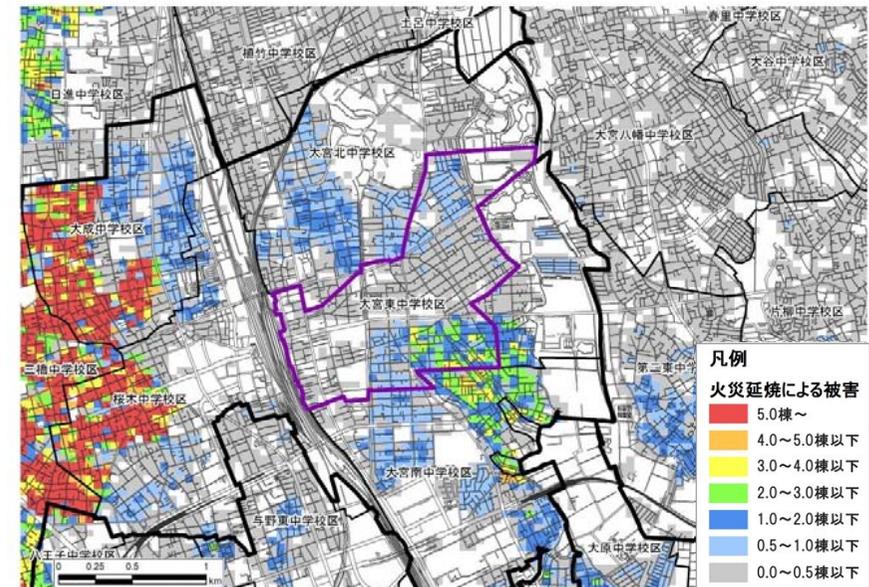
液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

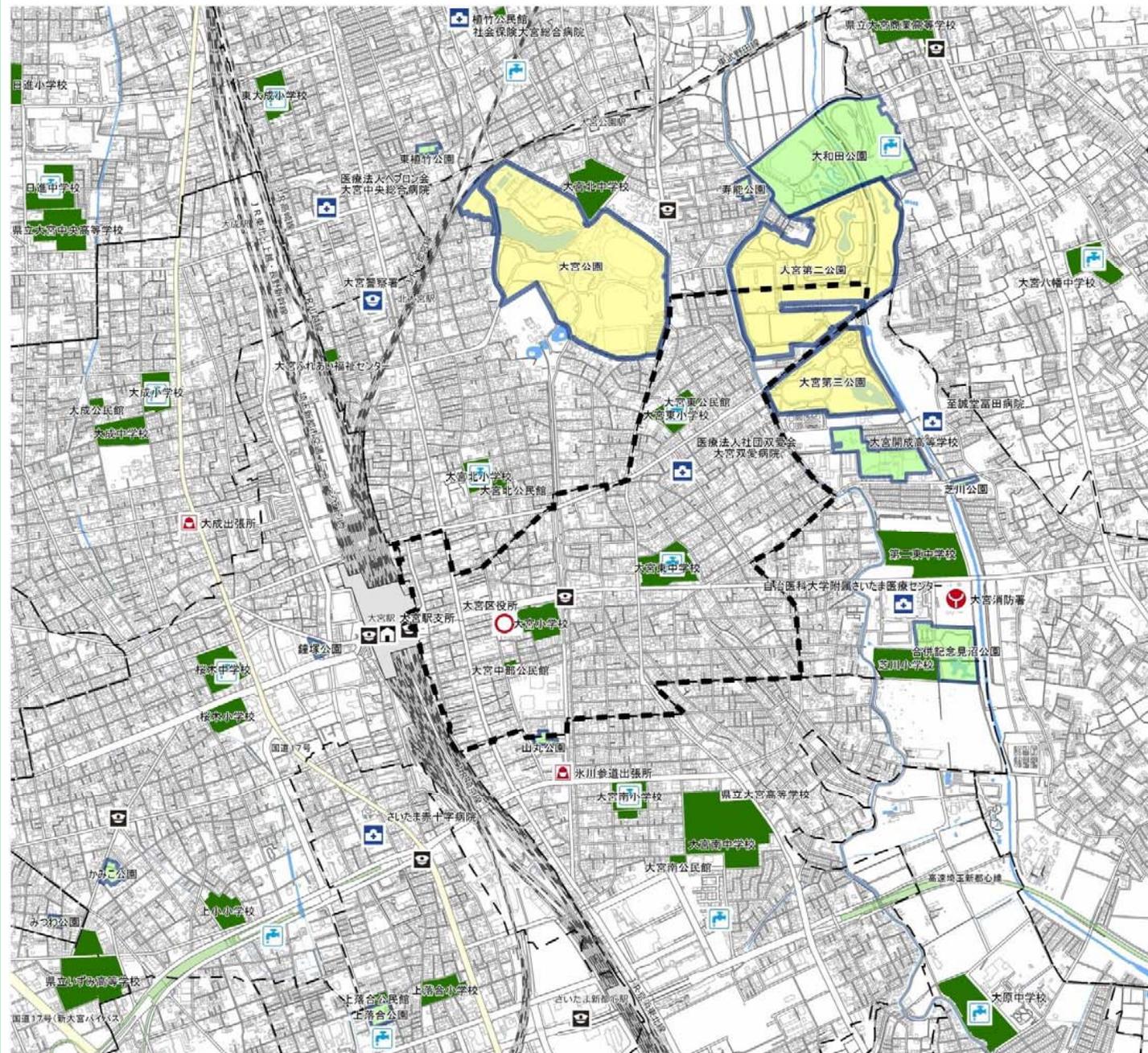


本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。

③防災マップ

さいたま市防災カルテ

大宮東中学校区



凡例

	避難場所		消防署
	一時避難場所		消防署(出張所)
	広域避難場所		警察署
	市役所		交番・駐在所
	区役所		救急病院
	支所・市民の窓口		応急給水場所

(平成26年2月時点の情報で作成)

